B 151
福島県東方地方における民生活の変化における研究
(第13編)
実業家とその経済史よりみた民生活の面における
一例：民生活の変化的過程について

（著者）金谷高正

目的 住民の衣生活の変化事例について考察を重ねたが、今後は明治33年の帳
簿類を資料として、生活の変化の過程について考察する。

方法 1）民生活を発展した歴史を調査し、前回まで考察を行なっ
た明治30年代、大正初期を比較し、関係文献・調査結果を参考に考察した。

結果 1）明治33年の民生活を調査した結果、服販売件数は、その20年近くが切・
物の縁・系等の衣服材料である。2）住家事・衣料品販売は大正時代、シャツ
等、下着の着用は元来から見られていた。シャツは山家や通販等市の服
品及びメイリッ製品である。3）洋務類の着衣はまだ稀薄でなかっ
たが、トンプ等の外洋類

考察 1）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服あり洋服に変
ってくる。2）民生活は30年代に入り地方における民生活は、男子下着が洋服ある